

いきいき
まえばし人



「社会を明るくする運動」で法務大臣表彰
 渋澤 均さん・40歳
 富田町

常に技術力アップを

赤城少年院で長年、理髪奉仕を続け「第60回社会を明るくする運動」法務大臣表彰を受賞した。「賞をいただいで光栄です。若いころに働いていた店で誘われ、練習になると思い始めたのがきっかけです。緊張の中にある少年たちが、少しでも穏やかな時間を持てればと思います」

平成3年からほぼ毎月1回、少年院を訪れ、出院を前にした少年たちの髪を整えている。特別なことをしているのではないと謙虚に語る。

理容師を志したのは、手に職を付けたかったため。13年間の修業を経て、8年前に独立した。

「最近では、髪型にこだわりがある人が多いですね。ニーズが多様化しています。お客さんの要望に応える

ためには、練習を重ね技術を磨く必要があります。その上で、一人一人丁寧に仕上げるよう心掛けています」

現在でも週1回の練習会を主催。また、昔はヘアコンテストにも多数参加し、数々の賞を受賞した。ヘアコンテスト前には夜遅くまで練習したり、東京まで練習に通ったこともあったという。

家族は、妻と子ども3人。夏休みには海やプールに出掛ける家族サーブスも。今後も、少年たちのために奉仕活動が続けるとともに、地域と交流を図り、地域に根ざした店を作っていきたいと語る。これからの熟練したはさみさばきで、多くの人の髪と心をすがすがしく整えてもらいたい。

グー・ズ・ア・ップ



自然の中で祭りを楽しむ

赤城山夏祭りを8月7日・8日に開催しました。両日とも好天に恵まれ、富士見地区の園児などによるだんべえ踊りや舞台発表、マスカみ捕り、灯籠流し、花火大会などを実施。大自然に囲まれた大沼湖畔は多くの人でにぎわいました。



七色の大輪が夜空を彩る



8月14日、大渡橋周辺利根川河川敷で前橋花火大会を開催。スターマインや空中ナイアガラなど1万3,000発が打ち上げられ、夜空に光の花が咲くたびに拍手と歓声が沸き起こりました。

敷島の森で馬と遊ぶ



敷島公園で8月22日、ホリデーインまえばしが開催されました。ポニーの乗馬体験や手作り工作、ステージ発表など、イベントが盛りだくさん。青空の下、たくさんの親子連れが訪れ、夏休み最後の日曜を元気に楽しみました。



儀式に使われた筒形器台

明治11年、大室公園にある前二子古墳の石室から、不思議な形をした土器が発掘されました。この土器は、筒状の台の上部に物を載せられるようになっていた筒形器台といわれるものです。日常の生活では使用せず、儀式などの特別なときに、つぼを捧げるための台として使われていたようです。つぼの中には神にささげる酒を入れていたのでしょう。

この土器の台座の部分には、動物をあしらった小像が付けられています。そのことから、特に、小像付筒形器台と呼ばれています。これらの小像は4カ所に付けられ

ていましたが、残っているのはカメ、トリ、ヘビ・カエルが付けられた3カ所。1カ所は出土したときに、はく落していました。かつては、この小像を東西南北それぞれの方角を守る神「四神」に見立てて、「四神付飾土器」と名付けられました。しかし、小像と方位を再検討した結果、四神とは異なることが分かりました。この小像のルーツは、遠く古代朝鮮の新羅や伽耶などの地域に通じることが判明したのです。それらの地域では、前二子古墳で出土したデザインと同じように、動物や人物が付いた土器が盛んに作られていました。この伝統が古墳時代の文化交流の中で日本列島にもたらされ、前橋の地にも伝わったと考えられます。

この筒形器台から、前二子古墳に葬られた豪族は、はるか遠い朝鮮半島の文化や社会情勢を察知できているような人物であったことがうかがい知ることが出来ます。

いにしえ



その十八

朝鮮半島との深いつながりがみられる

国認定重要美術品 四神付飾土器

問い合わせは 文化財保護課 ☎2361-9531